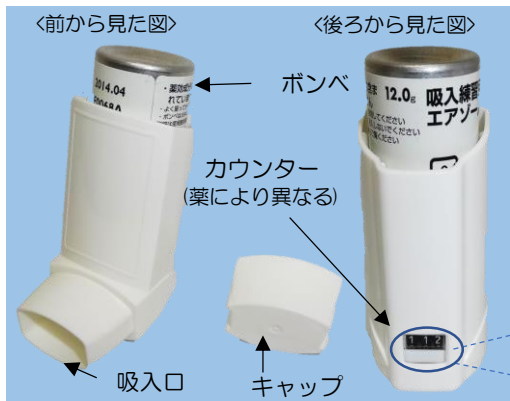


(手技確認における8つのポイント※)

※(一社)吸入療法アカデミー方式

- ①デバイス保持(垂直) ②カウンター指差し確認 ③通気口の位置確認 ④ボタン・レバー・カバー操作は最後までしっかり行い指を離す ⑤口角を閉じる ⑥吸い方(ゆっくり深く) ⑦息止め(指折り5つ) ⑧うがいは必ず行う(ガラガラ、ブクブク各3回)



カウンター付き製品

- ・アドエア
- ・メブチン 에어
- ・メブチンキッドエア

目盛り付き製品

- ・フルティフォーム

- ・ポンベを押すたびにカウンターが減る
- ・カウンターが0になった回の吸入が終わりでしたら、次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・カウンターの無いものは専用の残量計又は残数確認シールで確認して下さい



《吸入映像》

※1 (開封時の操作) (毎日の操作) (注意点)

(約1分) (約1分10秒) (約1分10秒)

\*あなたのウイークポイントにチェック回していますので参考にしてください。

・主薬と噴霧ガスを均一にするため吸入器を振りますが、患者の混乱を防ぐため振る必要のないものも全て振ると統一する

① 薬剤の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 薬剤セット時の操作はポンベの底が上になるように垂直に持ち行う</li> <li>□ カウンターで残量確認する(カウンターの無いものもある)</li> <li>□ キャップを外す(両端をつまむ)</li> <li>□ 吸入器をよく振る</li> </ul>	<p>よく振る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直に持ち操作しないと正確な1回分量がセットされない</li> </ul>
② 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 無理のない程度に息を吐き一旦止める(吸入口には息を吹きかけない)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・息吐きをしないとしっかり吸えない</li> </ul>
③ 吸入	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ボンベの底が上になるように吸入口をくわえ、口角を閉じ、息を吸いながらポンベを押し、ゆっくり深く、最後まで息を吸い込む</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・深呼吸するイメージで(5秒ほど)吸う</li> <li>・ポンベを押すタイミングで吸えない場合はスパーサーを利用すると良い</li> </ul>
④ 息止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 息を止める(無理のない程度で良い)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・の薬を定着させるため</li> </ul>
⑤ 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 鼻からゆっくりと息を吐く</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口から吐くと速くなることがある</li> </ul>
繰返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い</li> <li>・ステロイドに限っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある</li> <li>吸入後に鼻から息を吐きだすことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する</li> <li>その為、吸入後に鼻から息を吐きだすことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる</li> </ul>		
⑥ 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ キャップをしっかり閉じる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャップを閉じる前に吸入口を拭く</li> </ul>
⑦ うがい	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す</li> </ul>

※1 患者吸入指導テキスト(大林浩幸著、協和企画)より著者の許可を得て使用

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする  
それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする